

沖縄県公安委員会定例会会議録

令和3年2月4日(木)、沖縄県公安委員会定例会において、沖縄県警察から次の事項について報告があり、これを受けて審議等を行いました。

今週のトピック

警察から、「令和2年中の110番受理状況と「110番の日」の広報活動状況について」の報告がありました。

1 質疑等

- (1) 令和3年第1回沖縄県議会(2月定例会)会期日程等について
警務部から前記事項について報告がありました。

- (2) WEBを活用した各種会議の開催について

警務部から「令和3年1月26日開催の『令和2年度警察署協議会代表者会議』、令和3年1月29日開催の『令和3年第1回警察署長会議』において、一部集合方式とリモート参加方式を合わせた会議を開催した。」旨の報告がありました。

公安委員から「会議中、音声や画像に乱れがありました。一般で利用されているソフトではセキュリティの面で懸念もあるが、大分改善されている。会議内容によっては、安定性を優先させソフトの使い分けなど検討していただきたい。また、今後のWEB会議は、一般人が参加する会議や各種研修会へ積極的に活用して、警察と市民との意思疎通を図っていただきたい。」旨の意見がありました。

警察から「今後、セキュリティの観点も踏まえ、確認・検討していく。」旨の説明がありました。

- (3) 警察学校初任科長期課程第41期の卒業式について

警務部から「令和3年1月29日、県警察学校において、新型コロナウイルス感染症対策のため、規模を縮小して卒業式を挙行了。教養期間中は、徹底的に密を避ける取組を講じた上での教養実施となった。」旨の報告がありました。

公安委員から「初任科課程は、警察人生の第一歩を踏み出し、同期の絆を醸成する濃密な時間となるところ、コロナ禍の影響で団結力を高める辺戸岬からのマラソン訓練などができなかったことは大変残念でした。これに代わる体験をさせて団結を示すような訓練の工夫をしていただきたい。また、学生のコメント、家族からのメッセージ動画の作成も今後検討していただきたい。」旨の意見がありました。

- (4) 令和2年中の110番受理状況と「110番の日」の広報活動状況について

生活安全部から前記事項について報告がありました。

公安委員から、「110番標語が印刷されたクリアファイルは、広報の効果が期待される。#9110については、先日、#9110に電話をかけたところ、再度、110番へかけ直すようとの対応を受けた。#9110と110番の連携の仕組み、利用者の目線での対応を考えていただきたい。また、緊急通報以外の要望、相談事案については、#9110を利用するよう広報

を継続し、いざというときに対応できるよう有効率を上げる取組を進めていただきたい。」旨の意見がありました。

- (5) 那覇空港際内連結ターミナル施設建設工事現場における業務上過失致死傷事件被疑者の検挙について
刑事部から前記事項について報告がありました。
- (6) 令和2年中の薬物事犯検挙状況について
刑事部から前記事項について報告がありました。
- (7) 令和2年中の暴走族対策の実施結果について
交通部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「抑止対策が十分に講じられており、けが人が出ないような管理者対策も力を入れたことで効果が出ている。継続した暴走族対策を推進していただきたい。」旨の意見がありました。
- (8) 令和2年中の運転免許行政処分執行状況について
交通部から前記事項について報告がありました。
公安委員から「行政処分の執行状況からも飲酒運転が減っていない。トラック協会が飲酒運転撲滅運動に協力的で効果を出している。今後は、どこに働き掛けるか、対象者のターゲットを絞った対策、例えば、医療従事者など高い倫理観が求められる職種、団体への対策なども講じるほか、免許更新時の講習内容も吟味して、効果的な方法を継続していただきたい。また、議題に関連し、前々から提案している『飲酒運転は犯罪です』のメッセージや二日酔い防止のため『1杯飲んだら4時間休憩が必要』など広く広報していただきたい。」旨の意見がありました。
警察から「SNS、道路交通情報センターを活用したラジオ放送、道路の電光掲示板などあらゆる広報媒体を活用して広報する。」旨の説明がありました。
- (9) 令和2年中の国境離島警戒警備について
警備部から前記事項について報告がありました。

2 本部長総括

本部長から「報告議案のうち、生活安全部の110番通報については、真に迅速な対応をとるための警察と県民をつなぐツールであることから、警察安全相談（#9110）との使い分けがなされるよう、通報者に分かりやすく広報していく。また、電話を受けた警察職員の対応についても検討する。刑事部の薬物事犯検挙については、現状が悪化しないよう栽培や売買の情報にも着目し、捜査部門でしっかり検挙する姿勢を堅持し、抑止関係では薬物乱用防止の広報啓発を実施する。交通部については、当県の課題である飲酒運転撲滅の観点から行政処分は有効なツールであり、引き続き厳正に執行する。特に、取消処分者講習は、全国共通で、違反者に対して厳しく講習が行われている。飲酒運転をさせない広報

としては、アルコールが体内に残存する目安のデータも活用しながら、公安委員からの御提言を現場の職員まで周知させ業務を推進していく。」旨の総括がありました。

3 決裁・報告等(12件)

免許課

- ・ 取消処分の軽減について
- ・ 指定自動車学校に対する監督命令処分の執行について

警備部

- ・ 警備情勢について

警備第一課

警務課

- ・ 特定秘密保護措置の実施状況及び適正評価の実施状況について

警務課

- ・ 人事関係報告について
- ・ 公安委員会と女性警察官との語る会の開催について
- ・ 令和2年中の年休取得状況について

交通規制課

- ・ パーキング・メーター等の管理等に関する業務委託契約に係る認定審査について
- ・ 交通情報の提供に関する業務の委託契約に係る認定審査について

総務課

- ・ 令和2年中の被疑者取調べ監督の実施状況について

広報相談課

- ・ 公安委員会の電子決裁方法について

総務課

- ・ 公安委員会活動のホームページ掲載について

4 決定・裁定(1件)

運転免許課

- ・ 自動車運転免許の行政処分について